

政策課題名：施策（事業）名： 1 外部評価による議会活動の精査と向上

R 6年度

計画・評価

所管委員会：議会運営委員会

作成年月日：令和 6年 5月 7日

【現状】

外部評価の前提となる個々の議会活動に
係る議会の目標設定（PDMシート）につ
いて、共通認識が図られていない。

【目指す姿】

外部評価により議会として取り組むべき事
業を精査し、また、手法を見直すなどし、事
業の質の向上と目標達成を目指す。

【芽室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

【政策目標】

- ・議会内で外部評価の共通認識を図るため、年度の早い時期に議員研修を開催する。
- ・外部評価の前提となる事業の目標設定は、議員間討議の手法を活用して導く。

【今年度の計画】

- ・議会モニターによる外部評価の実施

[全体行程]

項目	R 6年度		R 7年度		R 8年度		R 9年度		備 考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
議会モニターによる外部評価の実施	計画	→							
	実績								
	計画								
	実績								
	計画								
	実績								
	計画								
	実績								

政策課題名：施策（事業）名： 2 自己評価制度の分析と改善

R 6 年度

計画・評価

所管委員会：議会運営委員会

作成年月日：令和 6 年 5 月 7 日

【現状】

これまで見直しを行い実施しているが、目的・意義・手法等の課題について、その具体的な整理・解決に至っていない。

【目指す姿】

- 意義及び評価結果の活用について、議員間での認識を共有
- 条文の趣旨に沿う具体的な評価方法の整理

【芽室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

【政策目標】

- 現行制度の確認・分析と課題の抽出（HOPS 提言の活用）。
- 課題解決に向けた改善策（方法）の協議・検討。
(目的・手法・意義・活用・効果等項目を設定し議員間討議により整理する)

【今年度の計画】

- 自己評価結果の検証
- 評価手法の目的と成果の検証

【全体行程】

項目	R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		R 9 年度		備 考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
自己評価結果の検証	計画	→							
	実績								
評価手法の検討と実行	計画	→							
	実績								
	計画								
	実績								
	計画								
	実績								

政策課題名：施策（事業）名： 3 情報公開の点検と見直し

R 6 年度

計画・評価

所管委員会：議会運営委員会

作成年月日：令和 6 年 5 月 7 日

【現状】

開かれた議会をスローガンに積極的な情報公開に努めているが、費用対効果や法令適合等の視点でチェックする必要性がある。

【目指す姿】

年次計画により、適正な運用が図られるよう点検と見直しを図る。(①法令及び条例の理解・②HOPS 提言事項の検討・分析)

【芽室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

【政策目標】

- ・現行制度の確認・分析と課題の抽出（HOPS 提言の活用）。
- ・課題解決に向けた改善策（方法）の協議・検討。（目的・手法・意義・活用・効果等項目を設定し議員間討議により整理する）

【今年度の計画】

- ・法令等基礎知識の研修の実施
- ・HOPS 提案事項（活性化計画書・議会白書）の確認・点検と改善事項の協議・検討の実施
- ・諮問会議答申事項の協議・検討の実施

〔全体行程〕

項目	R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		R 9 年度		備 考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
法令等基礎知識の研修	計画	➡							
	実績								
HOPS 提言事項の検討	計画	➡							
	実績								
諮問会議答申事項の検討	計画	➡							
	実績								
	計画								
	実績								

政策課題名：施策（事業）名： 4 広報広聴の機能拡充と手法の見直し

R 6 年度

計画・評価

所管委員会：議会運営委員会

作成年月日：令和 6 年 5 月 7 日

【現状】

豊富な広報広聴の各種メニューについて、適宜見直しながら運用している（議会だより、モニター制度等）。

【目指す姿】

- ・議会モニターの活用強化
- ・住民ニーズを踏まえた「町民との意見交換会」への刷新

【茅室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

【政策目標】

- ・改正後のモニター設置規程に基づく、日常の議会、委員会活動における住民意見聴取と反映
- ・町民との意見交換会の手法の見直し（モニターミーティングでの自由意見・議会改革諮詢問答申）
- ・「議会のトリセツ」「議員個人のページ作成」など、HOPS からの提言を形にする検討

【今年度の計画】

- ・モニターからの意見聴取の工夫の検討
- ・町民との意見交換会の手法の見直しの実施
- ・HOPS からの提言事項（「議会のトリセツ」、「議員個人ページ作成」等）についての検討・実施

[全体行程]

項目	R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		R 9 年度		備 考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
モニターからの意見聴取の工夫	計画	→							
	実績								
意見交換会の手法見直し	計画	→							
	実績								
HOPS 庭園事項の検討	計画	→							
	実績								
	計画								
	実績								

政策課題名：施策（事業）名： 5 多様な議員のなり手実現に向けての検証

R 6 年度

計画・評価

所管委員会：議会運営委員会

作成年月日：令和 6 年 5 月 7 日

【現状】

2023 年の町議選は無投票だった。
多様な議員のなり手実現に向けた
環境創出の再考が必要。

【目指す姿】

- ・個別事業の目的と効果・成果を明確にする。
- 多様な町民が議員を志すことができる。

【芽室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

【政策目標】

- ・議会改革諮問会議の答申を尊重し、議員の「働き方改革」を念頭に置き、公務としての活動量は「報酬と定数の根拠」になることを意識して検討する。
- ・多様な議員のなり手を目指した「(仮称) 議員のしくみ」等専門技術を活用した広報の検討
- ・政務活動費の導入の検討、定数と報酬の見直しの検討（議員間討議による具体検討）
- ・「(仮称) 議会ハラスメント防止条例」制定に向けた調査・研究

【今年度の計画】

- ・議員間討議の充実
- ・「(仮称) 議員のしくみ」等広報の検討
- ・政務活動費の導入検討
- ・議員定数と報酬の見直しの検討＜議員間討議による具体事項検討（検討手法・改正内容・適用時期等）＞
- ・「(仮称) 議会ハラスメント防止条例」制定に向けた調査・研究

[全体行程]

項目	R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		R 9 年度		備 考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
議員間討議の実施	計画	→							
	実績								
「(仮) 議員のしくみ」等広報の検討	計画	→							
	実績								
政務活動費の導入検討	計画	→							
	実績								
議員定数と報酬の見直し検討	計画	→							
	実績								

政策課題名：施策（事業）名： 「芽室町まちなか再生ビジョン」の検証並びに
あり方について

R 6年度
計画・評価

所管委員会：総務経済常任委員会
作成年月日：令和 6年 4月 17日

【現状】

- 町の根幹、未来像を成す活性化計画にも関わらず、町民への周知、説明が不足し、町民の関心が薄い状況。
- 芽室に生まれ、育ち、また、芽室でなりわいを成す方、芽室を作ってきた高齢者など各世代の意見が反映されていない。
- 実現に向けた財政計画が明確でない。

【目指す姿】

- 生活者、消費者に必要とされる、まちなか再生。
- このまちに暮らす町民のため
- まちなかの「賑わい」、町内外者が集う場の創出

【政策目標】

- ・町の歴史、先人の思い、町民ニーズを踏まえた、実現可能な「芽室町まちなか再生ビジョン」の検証、改訂の検討
- ・実現可能な「賑わい」が創出されたまちなか再生計画のあり方
- ・限りのある財政支出、計画の明確化
- ・「芽室町まちなか再生ビジョン」の町民への周知、合意形成がされたまでの実施計画

【芽室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

施策 1-2-1 地域内経済循環の推進と商工業の推進

【今年度の計画】

- ・かつての「賑わい」新しい「賑わい」が創出される、まちなか再生のあり方にについて調査研究を行う。
 - ①全ての世代、芽室町でなりわいを成す町民の思いが反映されたものか
 - ②中心市街地の活性化
 - ③実現可能であるか
 - ④財政計画

[全体行程]

項目	R 6年度		R 7年度		R 8年度		R 9年度		備 考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
全ての世代、芽室町でなりわいを成す町民の思いが反映されたものか運営手法	計画	→							
	実績								
中心市街地の活性化	計画	→							
	実績								
実現可能であるか	計画	→							
	実績								
財政計画	計画	→							
	実績								

政策課題名：施策（事業）名： 小中一貫教育を含めた将来的な教育環境の整備

R 6 年度

計画・評価

所管委員会：厚生文教常任委員会

作成年月日：令和 6 年 6 月 3 日

【現状】

町内の年間出生数が減少している。

【目指す姿】

- ・子どもたちの多様な学びが保障される
- ・地域全体で子どもを育む体制の整備

【政策目標】

- ・年間出生数の減少により、中長期的な視点では校区なども課題となってくる。
- ・小中一貫教育の構築に向けて、全体ビジョンを定めていく必要がある。
- ・児童・生徒数減少などの物理的課題の解決のみ焦点を当てた改革や配置計画の見直しにならぬよう議論を進めることが必要である。

【茅室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

施策 2-1-1 学校教育の充実

【今年度の計画】

- ① 現状の課題把握のための調査
- ② 意見聴取・交換の場を持つ（教育関係者等）
- ③ 先進事例等の調査研究
- ④ 学習環境の整備のための調査研究

[全体行程]

項目	R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		R 9 年度		備 考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実態把握・調査	計画	➡							
	実績								
意見聴取・交換の場の設定	計画	➡							
	実績								
先進事例等の調査研究	計画	➡							
	実績								
学習環境整備の調査研究	計画	➡➡							
	実績								

政策課題名：施策（事業）名： 誰一人取り残さない防災体制の構築

R 6年度

計画・評価

所管委員会：厚生文教常任委員会

作成年月日：令和 5年 7月 24日

【現状】

●町が定める「芽室町民避難行動原則」では、障害者も一般の指定避難所への避難が原則とされており保護者団体からは長年避難行動への合理的な配慮を求める声がある。●町は今年度から障害者に配慮した福祉避難所を指定したが、1事業者との協定に留まっており、当事者ニーズを満たすにはさらなる福祉避難所拡充策が必要である。

●個別避難計画の策定が進んでいない。

【目指す姿】

①障害者とその家族が、災害時に迷うことなく避難行動をとることができるように、福祉避難所の実を図る。②災害時に支援が必要な住民ごとの個別避難計画の策定を推進する。

③①、②の実現により「誰一人取り残さない防災体制」を構築し、障害者とその家族がいつまでも安心して暮らせる芽室町を目指す

【政策目標】

- ・障害者に配慮した福祉避難所の充実
- ・福祉避難所に指定される事業者への支援と連携
- ・避難行動要支援者ごとに作成する個別避難計画の策定が進んでいない

【芽室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

施策 3-3-3 障がい者の自立支援と社会参加の促進

【今年度の計画】

- ① 先進地事務調査
- ② 関係機関からの意見聴取
- ③ 委員討議・総括

〔全体行程〕

項目	R 6年度		R 7年度		R 8年度		R 9年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実態把握・調査	計画	→							
	実績								
意見聴取・交換の場の設定	計画	→							
	実績								
先進事例等の調査研究	計画	→							
	実績								
	計画								
	実績								

[R 6 年度評価]

[R 7年度評価]

[R 8年度評価]

[R 9年度評価]